

《日商簿記2級》 —工業簿記—

31. 本社工場会計

～工場会計を独立させた場合の記帳方法について～



ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



本社工場会計

～本社工場会計とは？～
<本社工場会計の概要を確認しよう!>

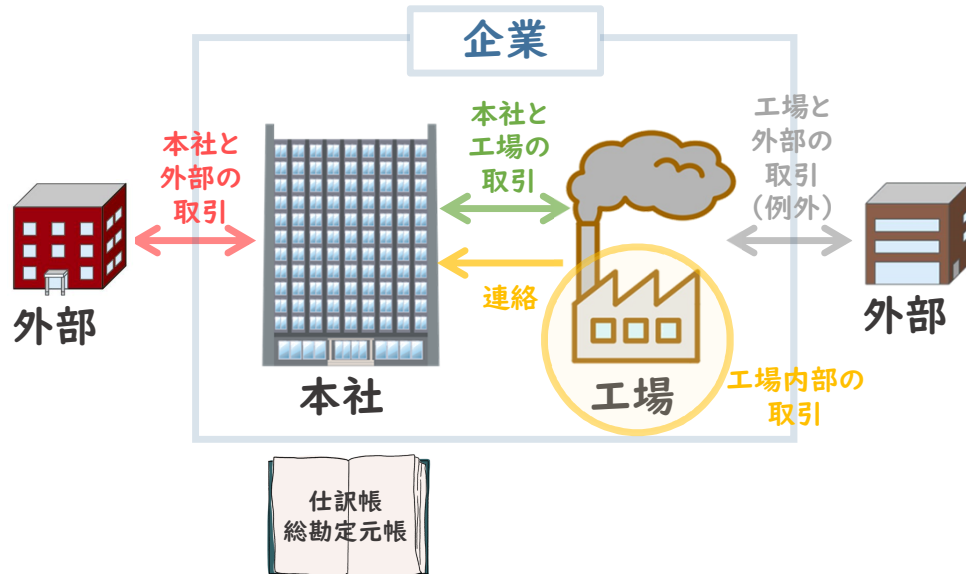
ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



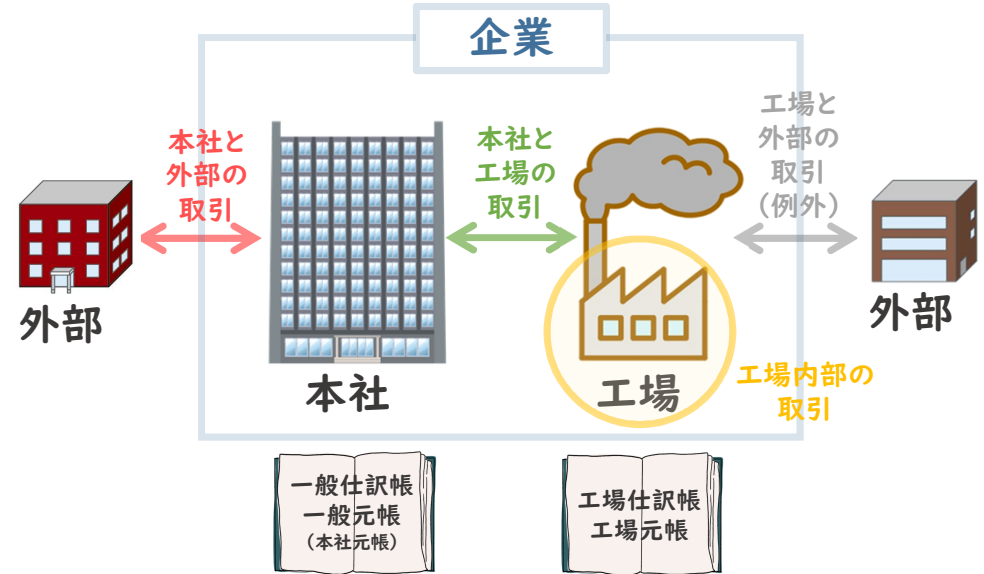
本社工場会計 = 工場会計の独立

- ・本社工場会計とは、本社だけでなくすべての取引を記帳するのではなく、工場の（ ）活動に関する取引は工場側でも記帳できるように帳簿を設けて、本社と工場の会計を区別して記帳する方法をいう。
- ・これは、会社の規模が大きくなり、本社は都心部に、工場は地方や海外などの遠隔地に移す場合に、地理的な問題で会計業務を煩雑しないなどの理由で用いられる。
- ・なお、本社だけで記帳を行う場合（工場会計独立前）の「仕訳帳」・「総勘定元帳」は、本社工場会計（工場会計独立後）においては、仕訳帳が（ ）に、総勘定元帳は（ ）または（ ）に名称が変わる。そして、工場側で新たに設ける仕訳帳は（ ））、総勘定元帳は（ ）という。

<工場会計独立前>



<工場会計独立後>

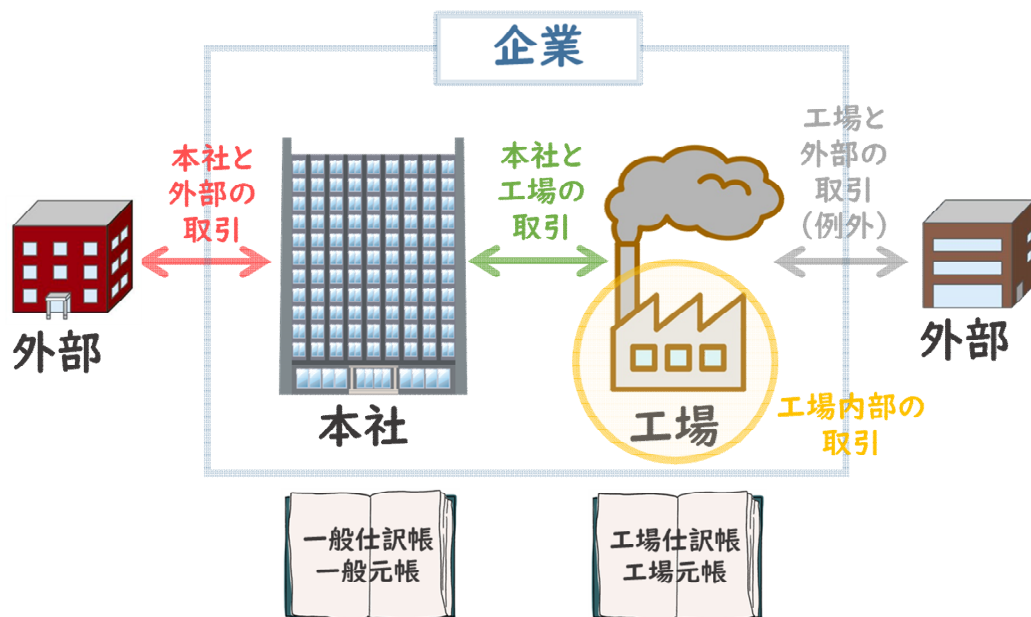


本社工場会計

●勘定科目の設定について●

勘定科目の設定は、基本的に製造活動に関するものを「工場側(工場元帳)」に、販売・管理に関するものを「本社側(一般元帳)」に設定するが、設定の仕方(「製品勘定」はどちらに設けるかなど)は各企業で異なる。つまり、問題の指示に従って柔軟に対応すること!

<本社工場会計の取引パターンについて>



[主に設定する勘定]

- ・現金
- ・売掛金
- ・買掛金
- ・売上
- ・売上原価
- ・製品※
- ・工場

[主に設定する勘定]

- ・材料
- ・労務費
- ・経費(諸勘定)
- ・仕掛品
- ・製造間接費
- ・製品※
- ・本社

①.本社と外部(本社のみ)の取引

- ・工場会計独立前と同様に、本社側(一般仕訳帳・一般元帳)にのみ記帳(仕訳・勘定記入)を行う。
- ・工場側(工場仕訳帳・工場元帳)の取引は一切ない。

②.本社と工場(本社・工場間)の取引

- ・本社(一般仕訳帳・一般元帳)と工場(工場仕訳帳・工場元帳)の両方に記帳を行う。
- ・この取引の際には、本社・工場間の取引を記録するための勘定として、本社側には()勘定を、工場側には()勘定を用いて処理を行っていく。なお、これらの勘定は、特殊な性質を持つ()に該当する。

③.工場内部(工場のみ)の取引

- ・工場側(工場仕訳帳・工場元帳)にのみ記帳を行う。
- ・本社側(一般仕訳帳・一般元帳)の取引は一切ない。

○用語○

・照合勘定…(本社・工場間の)貸借関係进行处理するための勘定。
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する。

※商業簿記の本支店会計(本店勘定・支店勘定)や、工業簿記の本社工場会計(本社勘定・工場勘定)で用いられる。

～問題解説～

<仕訳問題を用いて理解を深めよう!>



本社工場会計

○用語○

照合勘定…(本社・工場間の)貸借関係进行处理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する

《問題》

当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

<本社・工場で設定している勘定科目>

本社側：現金・売掛金・買掛金・減価償却累計額・預り金

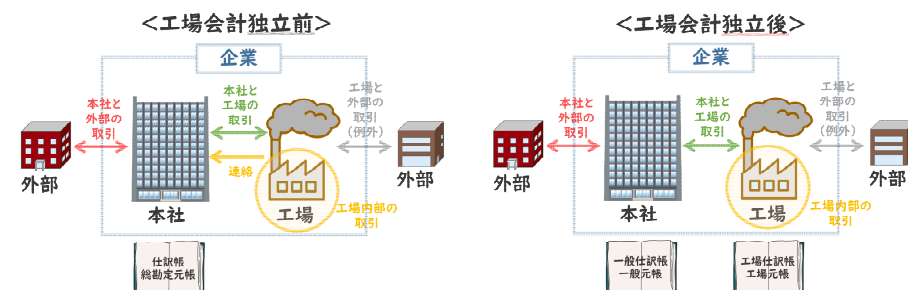
売上・売上原価・工場

工場側：材料・仕掛品・製造間接費・製品・賃金・本社

1. 材料100,000円を掛けて仕入れ、工場の倉庫に受け入れた。
2. 工場従業員の賃金200,000円を預り金10,000を差し引き、残額を現金で支給した。
3. 工場設備の当月分の減価償却費50,000円を計上した。
4. 直接材料費70,000円と間接材料費30,000円を消費した。
5. 直接労務費160,000円と間接労務費40,000円を消費した。
6. 製造間接費300,000円を各製造指図書に配賦した。
7. 製品400,000円が完成し、工場の倉庫に保管した。
8. 本社は、製品250,000円(製造原価:200,000円)を掛で販売し、工場の倉庫から直送させた。

○ポイント○

- ・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳(企業全体の仕訳)を考え、設定されている勘定科目をもとに本社側・工場側の仕訳を行っていく。
- ・特に、製品勘定や(設備・機械)減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。



1. 独立前:

本社側:

工場側:

本社工場会計

○用語○

照合勘定…(本社・工場間の)貸借関係进行处理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する

《問題》

当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

<本社・工場で設定している勘定科目>

本社側:現金・売掛金・買掛金・減価償却累計額・預り金

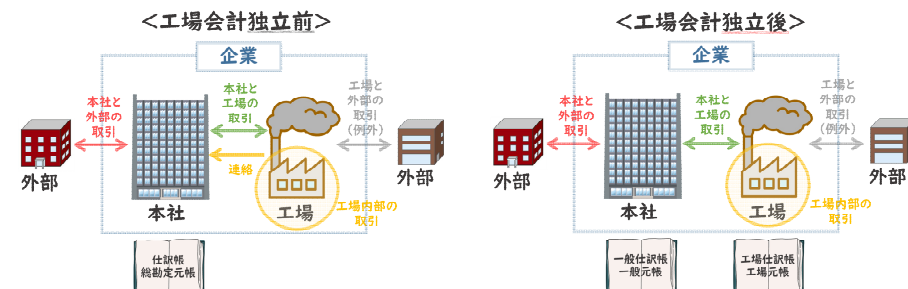
売上・売上原価・工場

工場側:材料・仕掛品・製造間接費・製品・賃金・本社

1. 材料100,000円を掛けて仕入れ、工場の倉庫に受け入れた。
2. 工場従業員の賃金200,000円を預り金10,000を差し引き、残額を現金で支給した。
3. 工場設備の当月分の減価償却費50,000円を計上した。
4. 直接材料費70,000円と間接材料費30,000円を消費した。
5. 直接労務費160,000円と間接労務費40,000円を消費した。
6. 製造間接費300,000円を各製造指図書に配賦した。
7. 製品400,000円が完成し、工場の倉庫に保管した。
8. 本社は、製品250,000円(製造原価:200,000円)を掛で販売し、工場の倉庫から直送させた。

○ポイント○

- ・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳(企業全体の仕訳)を考え、設定されている勘定科目をもとに本社側・工場側の仕訳を行っていく。
- ・特に、製品勘定や(設備・機械)減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。



2. 独立前:

本社側:

工場側:

本社工場会計

○用語○
照合勘定…(本社・工場間の)貸借関係を処理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する

《問題》

当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

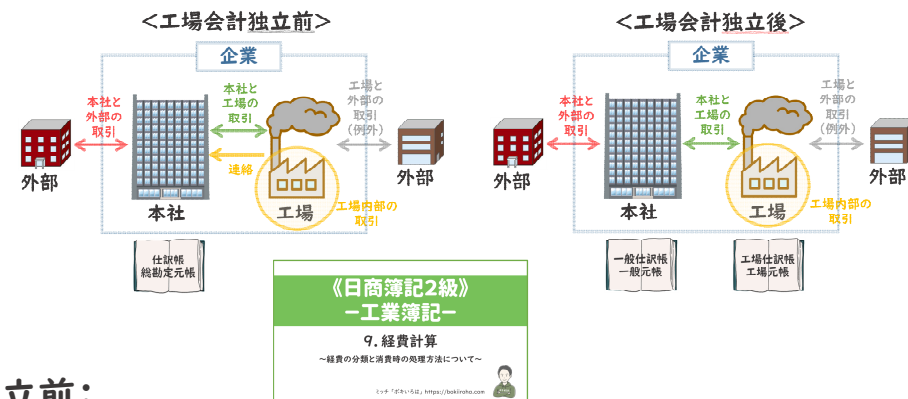
<本社・工場で設定している勘定科目>

本社側:現金・売掛金・買掛金・減価償却累計額・預り金
売上・売上原価・工場
工場側:材料・仕掛品・製造間接費・製品・賃金・本社

1. 材料100,000円を掛けて仕入れ、工場の倉庫に受け入れた。
2. 工場従業員の賃金200,000円を預り金10,000を差し引き、残額を現金で支給した。
3. 工場設備の当月分の減価償却費50,000円を計上した。
4. 直接材料費70,000円と間接材料費30,000円を消費した。
5. 直接労務費160,000円と間接労務費40,000円を消費した。
6. 製造間接費300,000円を各製造指図書に配賦した。
7. 製品400,000円が完成し、工場の倉庫に保管した。
8. 本社は、製品250,000円(製造原価:200,000円)を掛で販売し、工場の倉庫から直送させた。

○ポイント○

- ・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳(企業全体の仕訳)を考え、設定されている勘定科目をもとに本社側・工場側の仕訳を行っていく。
- ・特に、製品勘定や(設備・機械)減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。



3. 独立前:

本社側:

工場側:

本社工場会計

○用語○
照合勘定…(本社・工場間の)貸借関係を処理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する

《問題》

当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

●参考●

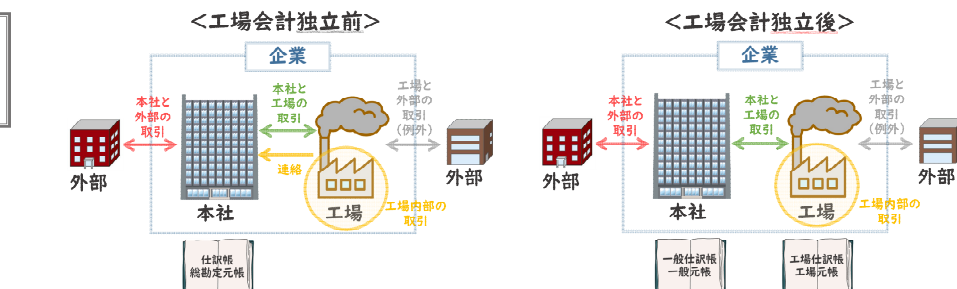
「減価償却累計額」勘定が工場側に設定されている場合

<本社・工場で設定している勘定科目>

本社側：工場

工場側：製造間接費・減価償却累計額・本社

3-1. 工場設備の当月分の減価償却費50,000円を計上した。



3. 独立前:

本社側:

工場側:

○ポイント○

- ・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳(企業全体の仕訳)を考え、設定されている勘定科目をもとに本社側・工場側の仕訳を行っていく。
- ・特に、製品勘定や(設備・機械)減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。

本社工場会計

○用語○

照合勘定…(本社・工場間の)貸借関係进行处理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する

《問題》

当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

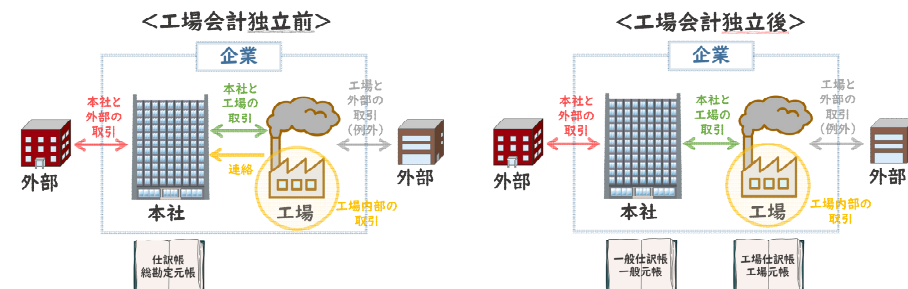
<本社・工場で設定している勘定科目>

本社側:現金・売掛金・買掛金・減価償却累計額・預り金

売上・売上原価・工場

工場側:材料・仕掛品・製造間接費・製品・賃金・本社

1. 材料100,000円を掛けて仕入れ、工場の倉庫に受け入れた。
2. 工場従業員の賃金200,000円を預り金10,000を差し引き、残額を現金で支給した。
3. 工場設備の当月分の減価償却費50,000円を計上した。
4. 直接材料費70,000円と間接材料費30,000円を消費した。
5. 直接労務費160,000円と間接労務費40,000円を消費した。
6. 製造間接費300,000円を各製造指図書に配賦した。
7. 製品400,000円が完成し、工場の倉庫に保管した。
8. 本社は、製品250,000円(製造原価:200,000円)を掛で販売し、工場の倉庫から直送させた。



4. 独立前:

本社側:

工場側:

○ポイント○

- ・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳(企業全体の仕訳)を考え、設定されている勘定科目をもとに本社側・工場側の仕訳を行っていく。
- ・特に、製品勘定や(設備・機械)減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。

本社工場会計

○用語○

照合勘定…(本社・工場間の)貸借関係を処理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する

《問題》

当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

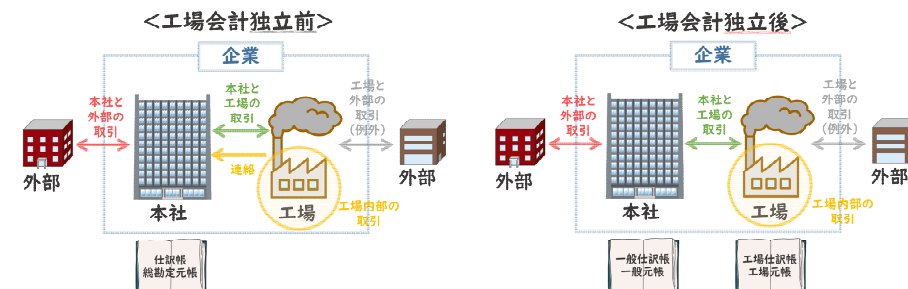
<本社・工場で設定している勘定科目>

本社側：現金・売掛金・買掛金・減価償却累計額・預り金

売上・売上原価・工場

工場側：材料・仕掛品・製造間接費・製品・賃金・本社

1. 材料100,000円を掛けて仕入れ、工場の倉庫に受け入れた。
2. 工場従業員の賃金200,000円を預り金10,000円を差し引き、残額を現金で支給した。
3. 工場設備の当月分の減価償却費50,000円を計上した。
4. 直接材料費70,000円と間接材料費30,000円を消費した。
5. 直接労務費160,000円と間接労務費40,000円を消費した。
6. 製造間接費300,000円を各製造指図書に配賦した。
7. 製品400,000円が完成し、工場の倉庫に保管した。
8. 本社は、製品250,000円(製造原価:200,000円)を掛で販売し、工場の倉庫から直送させた。



5. 独立前:

本社側:

工場側:

○ポイント○

- ・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳(企業全体の仕訳)を考え、設定されている勘定科目をもとに本社側・工場側の仕訳を行っていく。
- ・特に、製品勘定や(設備・機械)減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。

本社工場会計

○用語○
照合勘定…(本社・工場間の)貸借関係を処理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する

《問題》

当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

<本社・工場で設定している勘定科目>

本社側:現金・売掛金・買掛金・減価償却累計額・預り金

売上・売上原価・工場

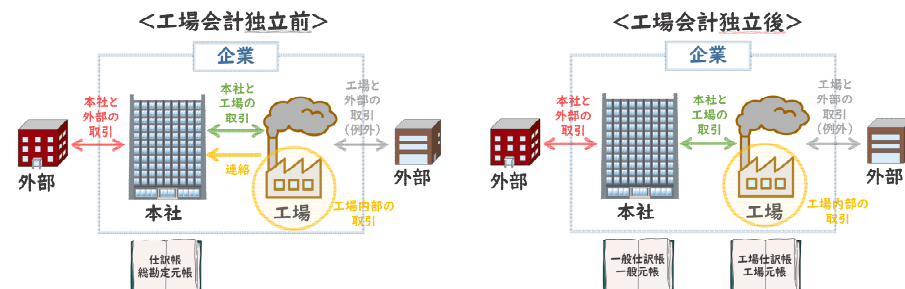
工場側:材料・仕掛品・製造間接費・製品・賃金・本社

1. 材料100,000円を掛けて仕入れ、工場の倉庫に受け入れた。
2. 工場従業員の賃金200,000円を預り金10,000円を差し引き、残額を現金で支給した。
3. 工場設備の当月分の減価償却費50,000円を計上した。
4. 直接材料費70,000円と間接材料費30,000円を消費した。
5. 直接労務費160,000円と間接労務費40,000円を消費した。
6. 製造間接費300,000円を各製造指図書に配賦した。
7. 製品400,000円が完成し、工場の倉庫に保管した。
8. 本社は、製品250,000円(製造原価:200,000円)を掛で販売し、工場の倉庫から直送させた。

6. 独立前:

本社側:

工場側:



○ポイント○

- ・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳(企業全体の仕訳)を考え、設定されている勘定科目をもとに本社側・工場側の仕訳を行っていく。
- ・特に、製品勘定や(設備・機械)減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。

本社工場会計

○用語○

照合勘定…(本社・工場間の)貸借関係进行处理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する

《問題》

当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

<本社・工場で設定している勘定科目>

本社側:現金・売掛金・買掛金・減価償却累計額・預り金

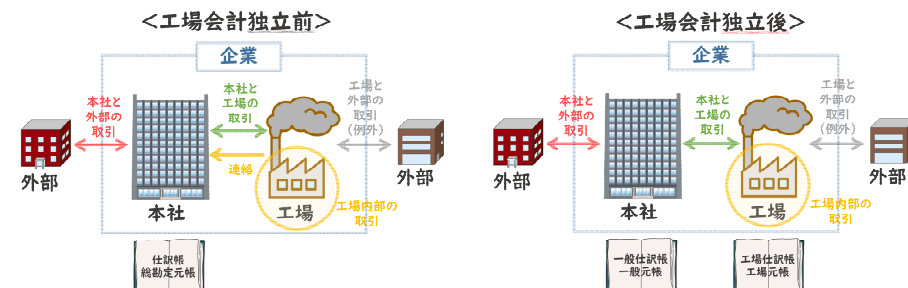
売上・売上原価・工場

工場側:材料・仕掛品・製造間接費・製品・賃金・本社

1. 材料100,000円を掛けて仕入れ、工場の倉庫に受け入れた。
2. 工場従業員の賃金200,000円を預り金10,000を差し引き、残額を現金で支給した。
3. 工場設備の当月分の減価償却費50,000円を計上した。
4. 直接材料費70,000円と間接材料費30,000円を消費した。
5. 直接労務費160,000円と間接労務費40,000円を消費した。
6. 製造間接費300,000円を各製造指図書に配賦した。
7. 製品400,000円が完成し、工場の倉庫に保管した。
8. 本社は、製品250,000円(製造原価:200,000円)を掛で販売し、工場の倉庫から直送させた。

○ポイント○

- ・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳(企業全体の仕訳)を考え、設定されている勘定科目をもとに本社側・工場側の仕訳を行っていく。
- ・特に、製品勘定や(設備・機械)減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。



7. 独立前:

本社側:

工場側:

本社工場会計

○用語○
照合勘定…(本社・工場間の)貸借関係を処理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する

《問題》

当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

●参考●

「製品」勘定が本社側に設定されている場合

<本社・工場で設定している勘定科目>

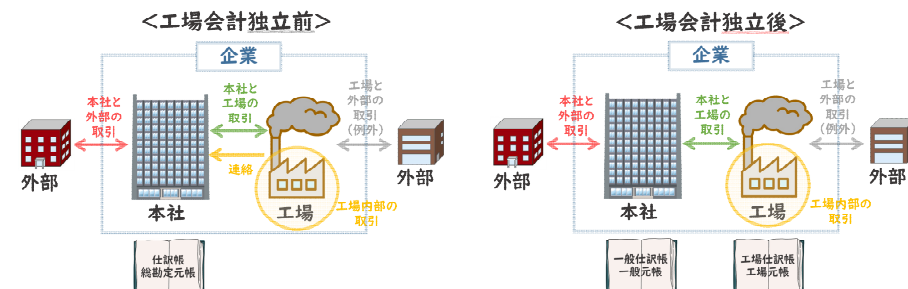
本社側：製品・工場

工場側：仕掛品・本社

7-1. 製品400,000円が完成し、本社の倉庫へ送付した。

○ポイント○

- ・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳(企業全体の仕訳)を考え、設定されている勘定科目をもとに本社側・工場側の仕訳を行っていく。
- ・特に、製品勘定や(設備・機械)減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。



7. 独立前:

本社側:

工場側:

本社工場会計

○用語○
照合勘定…(本社・工場間の)貸借関係を処理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する

《問題》

当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

<本社・工場で設定している勘定科目>

本社側：現金・売掛金・買掛金・減価償却累計額・預り金

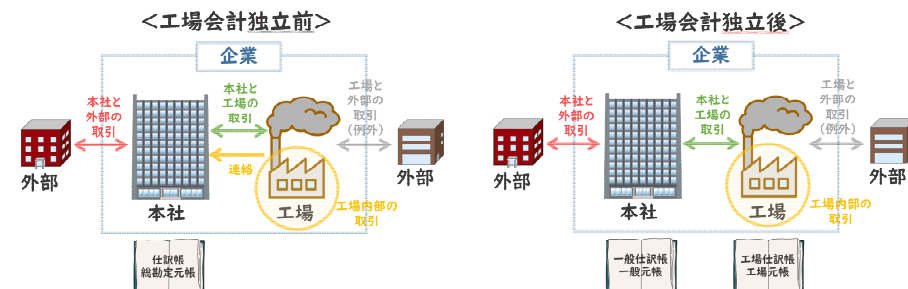
売上・売上原価・工場

工場側：材料・仕掛品・製造間接費・製品・賃金・本社

1. 材料100,000円を掛けて仕入れ、工場の倉庫に受け入れた。
2. 工場従業員の賃金200,000円を預り金10,000円を差し引き、残額を現金で支給した。
3. 工場設備の当月分の減価償却費50,000円を計上した。
4. 直接材料費70,000円と間接材料費30,000円を消費した。
5. 直接労務費160,000円と間接労務費40,000円を消費した。
6. 製造間接費300,000円を各製造指図書に配賦した。
7. 製品400,000円が完成し、工場の倉庫に保管した。
8. 本社は、製品250,000円(製造原価:200,000円)を掛で販売し、工場の倉庫から直送させた。

○ポイント○

- ・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳(企業全体の仕訳)を考え、設定されている勘定科目をもとに本社側・工場側の仕訳を行っていく。
- ・特に、製品勘定や(設備・機械)減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。



8. 独立前:

本社側:

工場側:

本社工場会計

○用語○
照合勘定…(本社・工場間の)貸借関係进行处理するための勘定
これらの残高は、貸借逆で必ず一致する

《問題》

当社は、本社の会計から工場の会計を独立させた本社工場会計を採用している。下記の各取引について、本社と工場で行われる仕訳を行いなさい。なお、使用する勘定科目は、下記に示すものから選び、仕訳がない場合は、「仕訳不要」と記入すること。

●参考●

「製品」勘定が本社側に設定されている場合

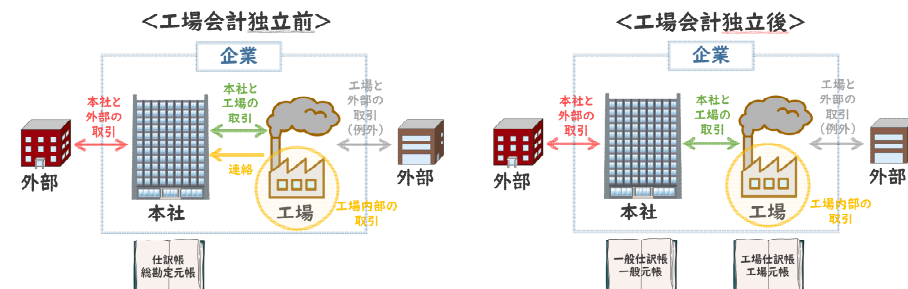
<本社・工場で設定している勘定科目>

本社側: 売掛金・製品・売上・売上原価・工場
工場側: 仕掛品・本社

8-1. 本社は、製品250,000円(製造原価:200,000円)を掛で販売した。

○ポイント○

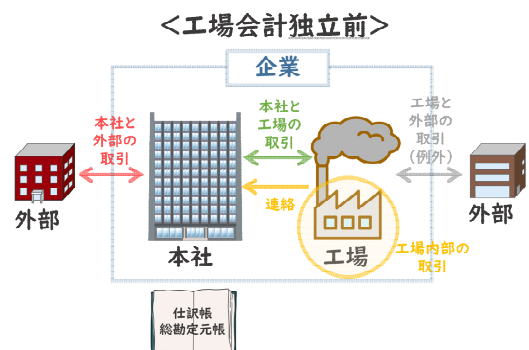
- ・仕訳を行う際は、一旦工場会計独立前の仕訳(企業全体の仕訳)を考え、設定されている勘定科目をもとに本社側・工場側の仕訳を行っていく。
- ・特に、製品勘定や(設備・機械)減価償却累計額勘定は、本社側・工場側のどちらに設定されているかをしっかり確認すること。



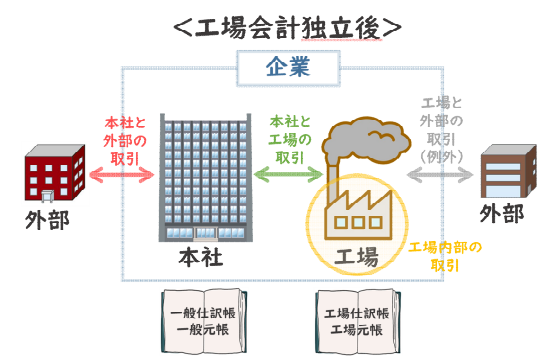
8. 独立前:

本社側:

工場側:



《まとめ》



- 本社工場会計とは、本社の会計から工場の会計を独立させて、本社・工場の会計を分担して記帳する方法をいう
- 取引は「①.本社のみの取引、②.本社・工場間の取引、③.工場のみ取引」がある
- 本社・工場間の取引を行う場合、これらを記録するための勘定として、本社側には工場勘定を、工場側には本社勘定といった()を用いる
- 照合勘定とは、貸借関係进行处理するための勘定で、残高は貸借逆で必ず()する
- 仕訳の際は、本社側・工場側で設定されている勘定科目を必ず確認すること



※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、ぜひ、高評価をお願いします♡

第31回すべての内容お疲れさまでした♪

